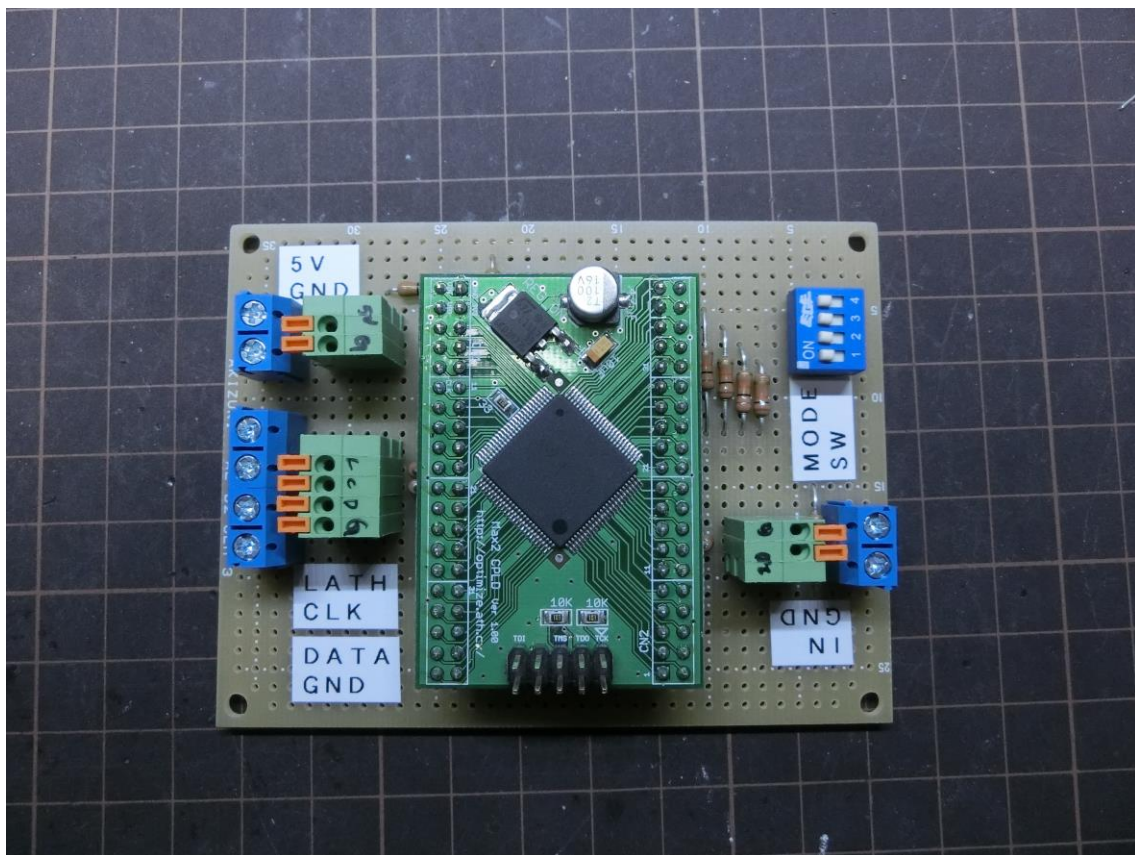


EasyFreq Ver1.0



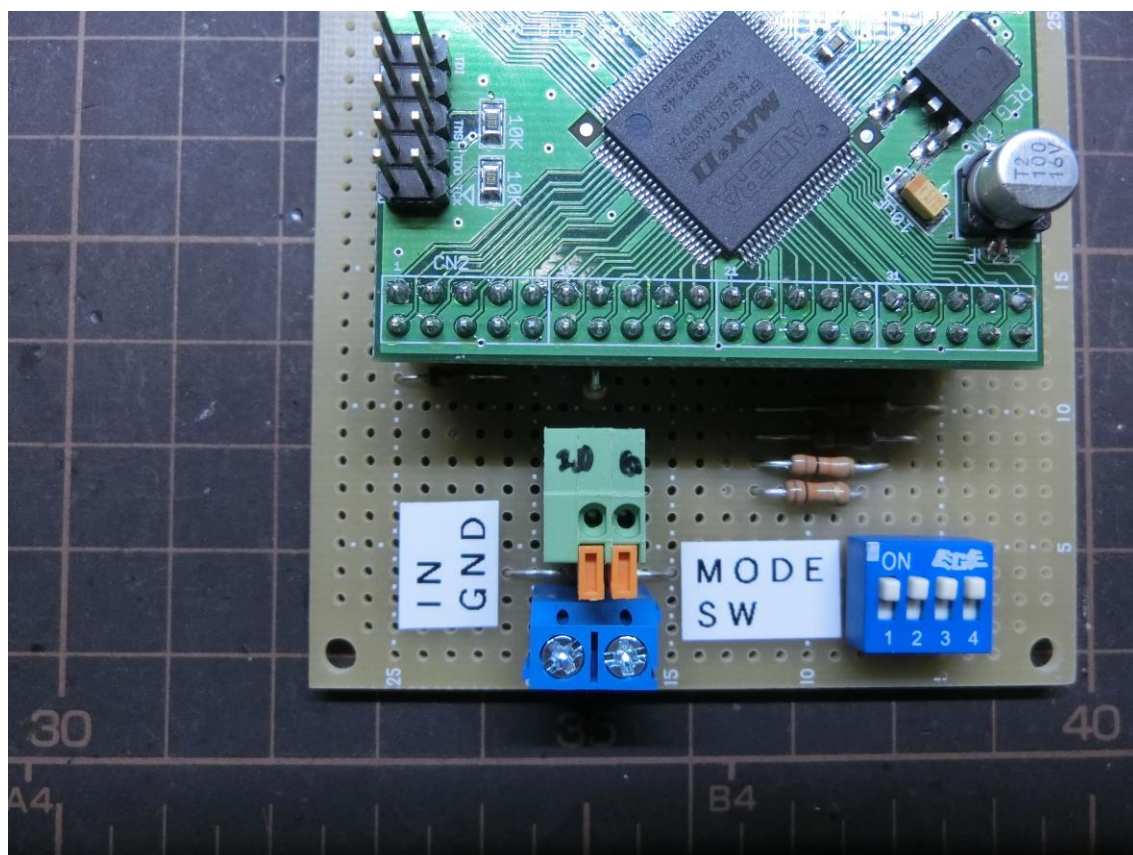
使い方

周波数入力部に信号線を接続します。

IN：矩形波周波数入力（5V 入力可能）

GND：グラウンド

緑の端子台、または青の端子台、どちらかに接続してください。



シフトレジスタ信号端子を Arduino と接続します。

LATH：入力があるとデータをラッチして、シフトレジスタに値を読み込みます。

CLK：データを出力するためのクロックを入力します。

DATA：データを出力します。

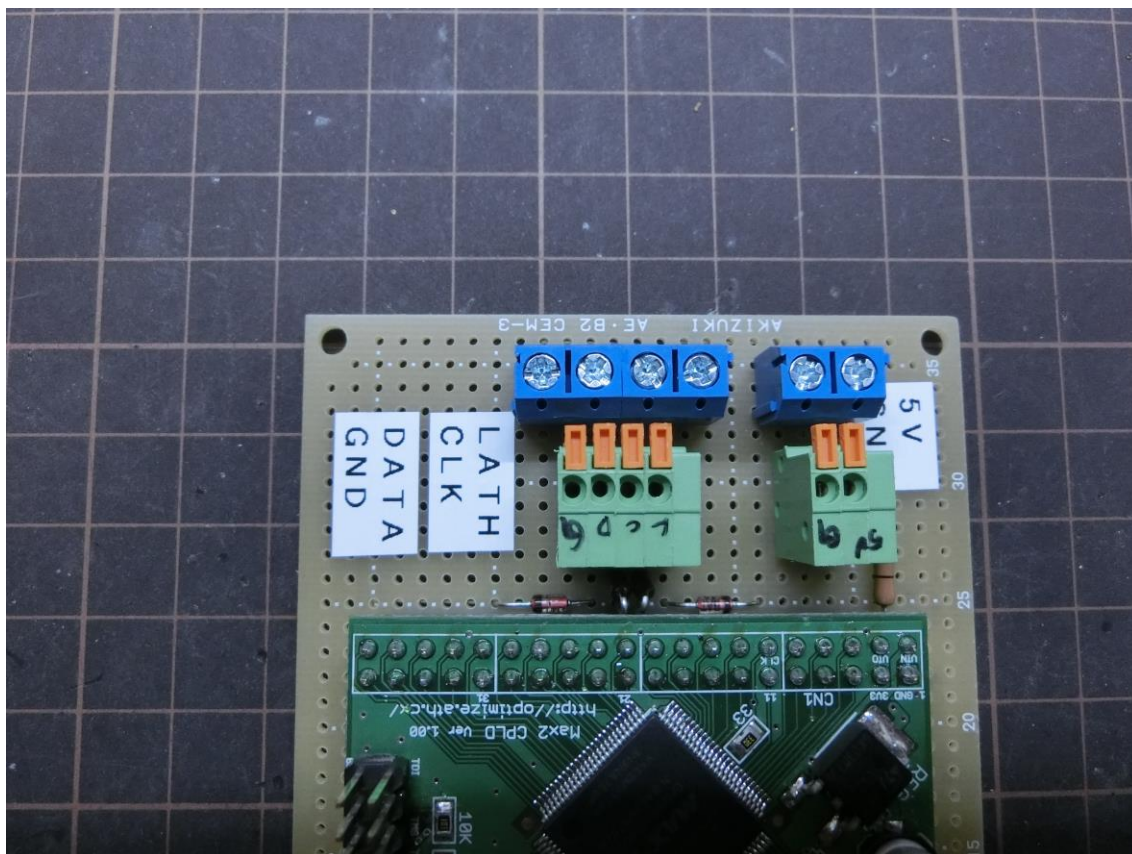
GND：グラウンド

5V 入出力可能です。

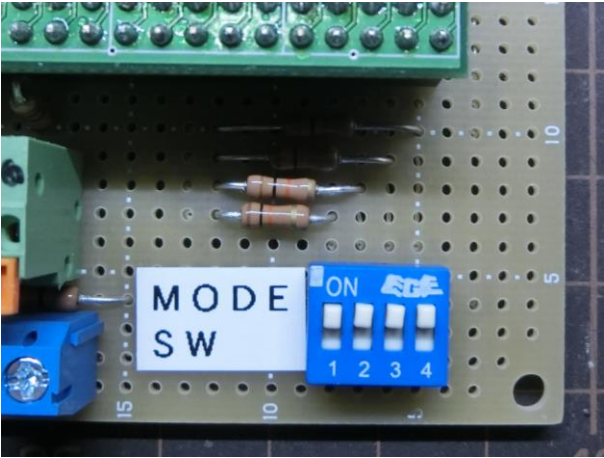
電源端子を 5V に接続します。

5V：5V の電源に接続します。(Arduino からの電源で動きます)

GND：グラウンド



モード切替スイッチについて



スイッチの設定切り替えをすることによって、ゲートタイムを変更できます。

SW1 の状態	SW2 の状態	SW3 の状態	SW4 の状態	ゲートタイム
1 (ON)	1 (ON)	1 (ON)	1 (ON)	1 秒
1	1	1	0	0.5 秒
1	1	0	1	0.1 秒
1	1	0	0	0.05 秒
1	0	1	1	0.01 秒
1	0	1	0	0.005 秒
1	0	0	1	0.001 秒

Arduino 側で読み取った値は、ゲートタイムごとのカウント値なので、
例えば、ゲートタイムを 0.1 秒とした場合には、
周波数としての値が欲しい場合は 10 倍の演算をする必要があります。

Arduino サンプルコード

Arduino のピン配線

2 番ピンを CLK

3 番ピンを LATH

4 番ピンを DATA

```
void setup() {  
    Serial.begin(9600);  
  
    //2 out clk  
    //3 out clear  
    //4 in  dataIn  
    pinMode(2, OUTPUT);  
    pinMode(3, OUTPUT);  
    pinMode(4, INPUT);  
  
}  
  
void loop() {  
    unsigned long result = 0;  
    digitalWrite(3, HIGH);  
    digitalWrite(3, LOW);  
  
    for(int i = 0; i < 32; i++){  
        unsigned long input = digitalRead(4);  
        result |= (input « i);  
        digitalWrite(2, HIGH);  
        digitalWrite(2, LOW);  
    }  
  
    Serial.print(String(result));  
    Serial.print("\n");  
  
}
```